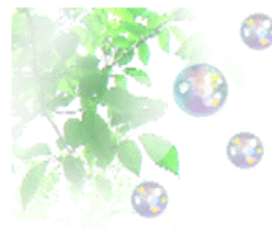


シャボン玉あそび【幼児対象】

山形市少年自然の家

1. 活動概要 シャボン玉は1543年の鉄砲伝来と共にポルトガル船によって日本に伝えられました。当時のシャボン玉は一般庶民には手の届かない大変貴重なものでしたが、現在では子どもの身近な遊びのひとつとなっています。

また、シャボン玉にはルールや決まった遊び方はありません。ひとりで自由に飛ばしたり、大勢でシャボン玉をいっぱい飛ばしたりして楽しむこともできます。子どもたちは「どうやって遊ぶか？」と次々考えていきます。どんな遊び方も可能なシャボン玉を、広々とした自然の中で、身近な植物と一緒におもいっきり楽しんでみましょう。



2. 活動場所 あじさい広場、体育館前芝生、サービスセンター周辺などの屋外

3. 所要時間 団体の裁量による

4. 準備 《 自然の家 》洗面器
《各自にて用意》シャボン玉液

シャボン玉液 材料

{	台所用合成洗剤（界面活性剤35%以上のもの）
	洗濯糊（PVAまたはポリビニルアルコールと成分表記のあるもの）
	水（水道水を一度沸騰させ、冷ましたものであればなお良い）

シャボン玉をつくる道具

（イタドリ・ススキ・タンポポ・キブシ・ブタナ・ヘラオオバコなどの植物や自然物）

5. 活動内容

★シャボン玉液の作り方

- ①台所用合成洗剤と洗濯糊と水を「1:5:10」の比率で配合し、泡が立たないように丁寧に混ぜます。

※グリセリンやガムシロップなどを加えると、更に割れにくいシャボン玉液ができます。

★あそびかた（例）

- ①小さなシャボン玉をつくろう！

空洞のある植物の茎を使います。または、ストローを準備しその先端に十字の切込みを入れ、それを折り返し広げます。次に、先端にシャボン玉液を浸しストローで吹きます。息の強さ次第で大小のシャボン玉や、たくさんのシャボン玉ができます。

- ②大きなシャボン玉をつくろう！

身近な植物を使って「輪っか」を作ります。洗面器などの容器にシャボン玉液を入れ、それに輪っかを浸しシャボン玉の膜を作ります。輪をゆっくり動かすと大きなシャボン玉ができます。

- ③二重のシャボン玉に挑戦！

②の大きなシャボン玉をつくり飛ばします。その横からストローか口で、強く息を吹くと大きなシャボン玉の中に小さなシャボン玉ができます。

6. 実施上の留意点

- ・活動は必ず屋外で行い、活動後は使用した道具を返納します。
- ・口で吹く場合は、シャボン玉液を誤飲しないように注意します。
- ・幼児などの小さい子どもには、必ず保護者や大人が付き添います。

